

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
全体	1 方向性	A 江別の独自性	(1) 札幌に頼らない独自の行政	① 江別の強みを活かし財政負担が少ない市民協働のまちに
			(2) 札幌の隣りではなく、江別の隣りの札幌と言われるような街に	② 他の自治体と競わず贅沢ではない真の豊かさを感じるまちに
			(3) 小さな「札幌」にならない	③ 子育て支援、福祉サービス等に繋がる経済力のあるまちづくり
			(4) 市内ですべてまかなえるような街に	④ 児童・生徒の学力の向上を目指すまち
		B 選択と集中	(1) 長期的視点で特定の地域に集中した整備	
			(2) 経済基盤の強化のため、重点分野の指針の明確化が必要	
		C 江別の強み	(1) 森林公園があり、公園が多く、大きな川がある緑のまち	① 新しいことをやるのにちょうど良い規模のまち
			(2) 大麻団地は独居老人が多いが、静かで暮らしやすいまち	② 札幌に比べると安心・安全
			(3) 買い物がしやすく、静かに暮らせる過ごしやすいまち	③ 石狩平野のど真ん中で人口が道内9番目というまち
			(4) 都会のよさの部分と都会ではないよさの部分があるまち	④ 都市と農村の調和のあるまち
				⑤ 今は子育てしやすいまち
				⑥ まちの環境がのんびりしている
		D 江別の弱み	(1) 札幌より雪が多い	① 札幌の衛星都市で何につけても中途半端なまち
			(2) 文化的に低くないが、目立たない地味なまち	② 「人が輝く共生のまち」というキャッチフレーズが分かりにくい
			(3) 目玉がなくどんなまちか説明しにくく、江別市民という意識も低い	
			(4) 札幌から見ると田舎で、一流の店がないダサイイメージ	
			(5) 地域によって特徴がありすぎてまとまりにくい	

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
高齢化・市民活動部会	2 高齢者福祉	A 方向性	(1) 高齢者が活躍する街(介護保険料が安い街)	① 年をとっても一人で生活できるまちづくり
		B ユニバーサルデザイン	(1) 道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化による高齢者への配慮	
		C 介護サービス	(1) 介護施設の整備、入居基準の柔軟化	① 大麻、文京台地区から市立病院へ通うための運賃補助
			(2) 単身高齢者介護の充実	② 介護予防のためのまちぐるみの健康増進(医療費削減)必要
		D 生きがい	(1) 学校の空き教室を利用した高齢者が学べる場所の整備	① 若い世代との交流が必要
			(2) 高齢者が活躍できる(働ける)場づくり	
			(3) 高齢者と子どもが集える環境整備	
		E コミュニティ	(1) 単身高齢者が集まり、助け合える場づくり	① 高齢者クラブを通じてパワフルな高齢者が交流していて心強い
			(2) 老人クラブの超高齢化対策	② 高齢者の会合等の活動により街の活性化に貢献している
				③ 高齢者団体の色々な行事で市民が「交わる」ことが重要
				④ 独居老人の見守りを自治会でどう対応していくか
				⑤ 地域のサロンづくり等が必要
				⑥ 福祉システムが充実すると、反面コミュニティが衰退することがある
				⑦ 「愛のふれあい交流事業(社協)」が地域の親睦に繋がっている
	F 大学連携	(1) 高齢者の大学利用		
	G 買い物支援	(1) ミニスーパーの整備	① 年寄りが生きていく上での利便性を維持するための対策が必要	
		(2) 買い物用の巡回バスの運行		
		(3) 高齢者への学校給食の提供		
	3 障がい者福祉	A ユニバーサルデザイン	(1) 道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化による障がい者への配慮	① 重度障がいの子が市内の学校へ通えるようなバリアフリー化が必要
		B 介護サービス	(1) 障がい者介護の充実	① 重度障がい児のための学校施設等の整備が必要 ② 「ときめいく」のように障がい者が活躍できる場の確保が必要

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見		
	区分	項目				
高 齢 化 ・ 市 民 活 動 部 会	3	障がい福祉 (続き)	B 介護サービス (続き)		③ 福祉事業を一つひとつ確実に 行うことが必要 ④ 障がい者施設等が身近な ところに多い	
	4	医療	A	市立病院	(1) 優秀な医師の確保	① 子どもの医療体制(産婦人科、 小児科等)の整備が必要
				(2) 民間への売却	② 個別診療科目をしっかりと 充実させることが必要	
				(3) 市立病院の医療機器を当番制で 市内開業医へ貸し出し	③ 周辺自治体から医療機関利用の ために江別に来ている	
					④ 他のまちへの医師派遣を行うなど 市立病院が充実してきている	
		B	在宅医療	(1) 往診診療の充実		
	5	市民活動	A	市民協働	(1) 除雪がきれいな地域の表彰制度	① お金以外の部分で協働するための コミュニケーションや連携が必要
				(2) 花を植える活動(学校含む)	② 市民ができないことを行政が補完 するという考え方が必要	
				(3) 地区単位や市全体で取り組むイ ルミネーションやアイスキャンドル	③ 行政は市民ニーズを把握するため 市民と一緒に考えることが必要	
					④ 市にやってもらうのが当たり前とい う市民意識を変えることが必要	
					⑤ 行政は市民活動の現場を知らな 過ぎる	
					⑥ 若い人の意識の中で我がまちとい う意識が欠けているのが残念	
					⑦ 「大麻団地まちづくり指針」の具体 化で、市の指導的役割が必要	
					⑧ 市民活動団体で問題を抱えている はずなのに相談がない	
					⑨ 市役所の仕組み、業務に詳しい市 民活動のプロの育成	
				B	コミュニティ	(1) 何かしたい人が気軽に集まれるコ ミュニティ広場の整備
(2) 個人情報保護の壁を越えた自治 会や民生委員の活動	② サロンづくりの場所としてシャッ ター街を上手く活用					
(3) パークゴルフやゲートボールを通 じたコミュニケーション	③ まちづくり支援事業で他団体との 出会いの場の設定が必要					
	④ 3地区別々な活動で市全体のまと まりがあまりない					
	⑤ 3地区合同でイベントを行えば一 体感が生まれ経費節減になる					

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見	
	区分	項目			
高齢化・市民活動部会	5 市民活動 (続き)	B コミュニティ (続き)		⑥ 広報を充実させ自治会に対する住民の意識の向上を図る	
				⑦ 新しい行事をやるにしても自治会の活動資金が不足	
				⑧ 自治会での個人情報の取り扱いの難しさ	
				⑨ 自治会の会費、排雪費を払わないという課題への対応	
				⑩ 自治会などの市民活動が周知されていない	
			C 人材活用	(1) 主婦の意見・力の活用	① 自治会の役員のなり手がおらず、また若手が自治会に入りにくい
				(2) 若い人の意見・力の活用	② 女性自治会長、婦人部の人材がおらず女性の声が自治会に反映されにくい
					③ 市民活動団体に人的余裕がない
					④ 市民活動団体では優秀なスタッフの報酬を確保できない
					⑤ 市民活動団体と市の若手職員が話し合う場の設定が必要
		D 大学連携	(1) 大学の行事への市民参加	⑥ 市民活動の子育て事業に市の職員を研修で活用	
				① 市民の10人に1人が学生という若い力の活用	
				② 4大学連携のコーディネーターがない	
				③ 学生を受け入れる受け皿が必要	
			④ 大学と地域の結びつきにおいて実効性のある政策提案が必要		

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
暮らし・定住部会	6 定住	A 住み替え	(1) 大麻地区の高齢化対策	① 大麻地区の空き地、空き家対策が必要
			(2) 大麻地区の空き家対策	② 地価を抑えて若年層にも購入しやすくする取り組みが必要
			(3) 市営住宅の改修による空室対策	③ 大麻地区の少子高齢化対策が必要
				④ 大麻地区が将来消滅するのではないかという危機感が地元にある
		B 住環境	(1) 札幌にない住環境の良さをさらに伸ばす	① 大学生はアルバイト先がないため札幌に住む
			(2) 環境重視のまちづくりを進め、エコのイメージを発信	② 札幌市に住んでいるという方が聞こえがよい
		C 情報発信	(1) 公共施設の耐震化などを公表し、江別の安全性をアピール	① 札幌郊外より江別市の方が住みやすいと広報する
			(2) 小中学生の優れたスポーツ芸術活動の情報発信	
			(3) 江別に住んでもらうための生活情報の発信	
			(4) 転入者へ江別居住の理由を調査し、江別の長所を探る	
			(5) 安全・安心なまちづくりを進め、江別の「安全」をPR	
			(6) 安全・安心をテーマにしたシティプロモートの実施	
	D 定住支援	(1) 婚活イベントを開催し、結婚した人に手当を支給		
		(2) 子どもと定住する場合の家賃無料化		
	7 子育て	A 方向性	(1) 子どもをいっぱい産んで育てたいと思えるような街に	① 子育て環境の充実に向けて、ただお金をつぎ込むだけは駄目
			(2) 働きながら子どもを産んで育てられる街	
		B 保育	(1) 保育園の利用時間の多様化	① 認定こども園の増設が必要
			(2) 待機児童の解消	② 働いている母親をフォローするような行政の関わりが重要
			(3) 職場内保育園の開設	③ 共稼ぎの世帯でもきちんと子育てできる支援施設の増設
(4) 札幌で実施している保育ママの導入				
C 教育		(1) 放課後の教育環境の充実	① 進学校が札幌に劣るため、札幌に行ってしまうと江別に戻らない	
		(2) 学校単独ではなく、いろいろな機能を持った教育機関の集積		
		(3) 特認校である野幌小学校の特色を活用		

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見	
	区分	項目			
暮らし・定住部会	7 子育て (続き)	D 特区	(1) 教育特区による学力、スポーツ、音楽などで魅力的な学校づくり	① 学生街特区というのがあるとしてもよいのではないかと	
			(2) 小中高大の連携、中高一貫校やコミュニティ立学校などの設置		
		E 医療	(1) 土日の予防接種の実施	① 医療費助成の年齢の拡大	
			(2) 往診診療の実施(豊幌)	② 予防接種のような重要な情報は自治会回覧ではなく個別に情報発信	
			(3) 医療費負担の軽減		
			(4) 病児・病後保育の充実		
		F 公園整備	(1) 子どもが安全に遊べるような公園の防犯対策		
			(2) 子どもの遊び場の充実、火が使える食事場所の整備		
			(3) 市内の公園それぞれの特色やトイレの様子をまとめたマップづくり		
		8 学校教育	A 耐震化	(1) 学校の早急な耐震化	① 老朽化した小中学校の耐震化、または建て替えを検討すべき
			B 学校統廃合	(1) 学校の統廃合は子どもが困らないように配慮	① 小学校の統廃合は江別駅周辺の開発と同時に一体的に行うことが必要
				(2) 統廃合よりも学校を中心としたまちづくりのネットワーク構築	
	C 教員		(1) 優秀な人材の確保	① 教師の指導力の向上が必要	
	D 高校		(1) 進学校が必要		
			(2) 独自の取り組みで高校生の市外流出を防ぎ、市外から呼び込む		
	E 地域との交流		(1) 空き教室の有効活用による地域住民との交流		
	9 情報発信		A 市外への発信	(1) 江別を知ってもらい遊びに来てもらうための情報発信	
				(2) 「江別」のブランドイメージをつくり、そのイメージを発信	
				(3) 知られていない海外の都市との姉妹提携による江別のPR	
		(4) まち全体で何かに取り組み、その取り組みで江別をPR			
(5) 天気予報の気温が低く表示されるため観測地点を移動					

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
暮らし・定住部会	9 情報発信 (続き)	A 市外への発信 (続き)	(6) 消防のレスキューマンによるPR	
			(7) えべつチェンの歴史をれんがの歴史にあわせてつくり江別をPR	
			(8) 河川防災ステーションのネーミングを全国に募集し江別をPR	
		B 市内への発信	(1) 市内イベント等の積極的な周知	
			(2) イベント、公共施設、大学開放などの情報の共有・ネットワーク化	
			(3) イベントの実施予定をごみ収集カレンダーに記載	
			(4) 市長ブログなどによる政策の発信	
			(5) 江別に住み始めた人への江別の地域情報の発信	
			(6) 学校開放の利用窓口のPR	
	(7) ママさんのネットワークを市が情報発信に活用			
	(8) 市内のバスの外装や停車ボタンの音などでえべつチェンを活用			
	(9) 情報発信源に情報図書館を活用			
	C メディア活用	(1) 新聞、テレビでのPR		
		(2) フェイスブック、ツイッターでのPR		
		(3) ミニFM局の開設		

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
環境・文化部会	10 環境	A 方向性	(1) 環境先進都市の米国ポートランドを参考にしたまちづくり	
			(2) 環境に徹底的にこだわる街	
		B 住環境	(1) 既存の公園の再整備による街中自然の保全・充実	① 大麻中央公園や湯川公園をホテル舞う里にし自然環境都市をPR
			(2) 住宅街の自然環境の保全	② 身近に憩える場所が必要
			(3) 公園周辺の環境を保全するルールづくり	③ 大きな桜並木など今の環境をさらに良いものし住民交流の場に整備
				④ 上水道、下水道料金が高く、水質が悪い
		C 環境教育	(1) 野幌森林公園を利用した環境学習ツアーの実施	
			(2) 河川防災ステーションを子育て支援の空間として環境学習に活用	
		D 大学連携	(1) 学生による環境学習ツアーのボランティアガイド	
	11 エネルギー	A 自然エネルギー	(1) 太陽光、風力、水力の活用	
			(2) 雪のエネルギー活用	
			(3) エネルギーの地産地消	
		B リサイクルエネルギー	(1) ごみ焼却場の熱、下水処理場のメタンガスを利用	
		C 代替エネルギー	(1) 泥炭土の活用	
12 ごみ資源化	A 産業廃棄物	(1) 業者のプラスチックリサイクルの徹底	① ごみの資源化、資源回収が普及しており、リサイクル率が高い	
13 文化	A 方向性	(1) 芸術的な街をめざす	① 文化行政が弱い	
		(2) 「江別マダム」など市としての一貫したイメージづくり		
	B 文化施設	(1) 点在している文化施設を連携し充実させる	① 地区センター、公民館、体育館などの施設は満足度が高い	
		(2) 文化施設の終日利用のため、周辺で食事ができる環境整備	② 文化施設の充実が必要	

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
環境・文化部会	13 文化 (続き)	C 地域理解	(1) 江別の歴史を学び、子どもたちに教える	① 屯田兵の歴史があるまちであることを知ってもらうことが必要
			(2) 江別の自慢を言えるようにする	
		D 文化イベント	(1) PMFの誘致	
	E 指導者	(1) 吹奏楽を学校に定着させるため専門の指導者を配置		
	14 スポーツ	A 方向性	(1) スポーツ振興による健康管理で市の特色を	① スポーツ施設の充実が必要
		B 指導者	(1) スポーツ振興のための指導者の育成	
			(2) スポーツ振興会をつくり、指導者を育成して、各学校で指導	
		C スポーツイベント	(1) ご当地マラソンを開催し、市民全員で応援	
	(2) 北電サッカー場の「ノルブリック北海道」を市民が一丸となって応援			
	15 行政サービス	A 市民意見の反映	(1) 市民会議意見の総合計画への反映	① 市街地開発の方向性の検討には住民と行政のコミュニケーションが必要
			(2) 子どもの視点を取り入れた行政サービス	② 市民が積極的にまちづくりに参加できる市民参加条例の制定が必要
			(3) 行政を監視する市民会議の設置	
		B 市民サービス	(1) 市役所窓口のワンストップサービス	① 市役所窓口のワンストップ化が必要
(2) きめ細かな市民サービスの実施			② 市役所のどこが窓口なのか不明確(たらいまわし)	
			③ 市担当課が複数となる市民活動では窓口の連携が悪く活動しづらい	
			④ 市役所が分散し、かつ老朽化している	
			⑤ 市役所の中で情報共有がなされていない	
			⑥ ことなかれ主義の組織風土の改善が必要	
			⑦ プロを育てるような人事、若手職員の人材育成が必要	
	⑧ 職員が異動すると話がつながらなくなるため、引き継ぎをしっかりとすべき			
	⑨ 市民ニーズの多様化にあわせた市役所の体制整備が必要			

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
環境・文化部会	15 行政サービス (続き)	C 情報公開	(1) ホームページの充実	① 各自治会長あてに総合計画の必要な資料の配布が必要
	16 行政効率化	A 施設の活用	(1) 既存施設の再利用などの有効活用	① 江別高校の跡地の有効活用
			(2) 施設整備にあたっての市民意向の把握	
		B 職員削減	(1) 職員数、議員数の適正化	① 人口に対して職員数が少ない
			(2) 職員給与の適正化	② 議員定数の削減
		C 意識改革	(1) 市職員の市内への居住	① 若い職員の意見を取り入れる仕組みが必要 ② 組織の横のつながりが弱く、縦割り行政になっている ③ 職員は江別に住み、江別の良さ・悪さを知るべき
	17 税込	A 方向性	(1) 市の税込アップ	① コンビニ収納の実施
			(2) 住民税の負担を軽くする	
		B ふるさと納税	(1) 有名人によるふるさと納税	

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
安全・安心部会	18 防災	A 防災体制	(1) 災害発生時の避難方法などの手順の明確化	① 文京台地区への消防車の配置
			(2) 浸水の可能性が高い地域の避難体制と避難基準の明確化	
			(3) 災害時に自治会等の団体へ指示する組織を市役所内に設置	
			(4) 住んでいる地域の防災情報の周知、情報の共有化が必要	
			(5) 備蓄資材の充実	
			(6) 豊幌地区の洪水対策の充実	
		B 情報通信	(1) 災害情報の伝達にメール、インターネットを活用	
			(2) 携帯等の不通に備えた掲示板などのアナログな通信手段の整備	
			(3) 災害の危険度に応じてサイレンの鳴らし方を工夫	
		C ハザードマップ	(1) マップに食料や毛布の備蓄状況を記載	
			(2) マップに建物の耐震強度、集中豪雨で浸水する場所を記載	
			(3) マップに活断層の情報を記載	
			(4) マップに液状化現象がおきそうな場所を記載	
		D 避難所	(1) 避難所の早急な耐震化と現在の安全性の公表	① 高齢者に考慮した避難所の指定
			(2) マンションやビルなど頑丈な建物と協定を結んで避難所として指定	
			(3) 水害発生時の現実的な避難場所を記載(公園避難は非現実的)	
			(4) 地区の人口にあわせた避難所の設定が必要	
			(5) 公園は雪捨て場となるため冬期間は別な避難場所が必要	
			(6) 冬期間の災害に備えた避難所の暖房とトイレ	
			(7) 小学校の空き教室を利用した防災資材の備蓄	
		E 災害時要援護者	(1) 個人情報の保護のため要援護者の情報が不足	
			(2) 要援護者へ防災無線を整備	
			(3) 介護施設の避難には地域住民のサポートが必要	

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
安全・安心部会	18 防災 (続き)	F コミュニティ	(1) 災害時の支援のため日常での地域内のコミュニケーションが必要	
		G 災害支援	(1) 世田谷区から入植した歴史を踏まえた災害時の支援	
	19 除排雪	A -	(1) 幹線道路の除排雪(特に3番通)	① 除雪の時間帯の配慮
			(2) 生活道路のきめ細やかな除排雪	② 高齢者が除雪している消火栓の対策
			(3) 歩行者のための歩道の除雪	③ 安心して冬道を歩くための生活道路、歩道の除雪
			(4) 冬の災害に備えた除排雪	④ 歩道の両側の除雪が必要
			(5) 冬に自転車に乗っている高齢者対策	⑤ 子どもの通学時等の雪山が危険
				⑥ 高齢者の除雪作業は非常に大変
				⑦ 3番通の中央分離帯が雪山になって視界が悪く大変危険
				⑧ 雪の少ないうちからこまめな除雪が必要
				⑨ 札幌の住宅街の置き雪対策を参考とした取り組み
				⑩ 夕張で行っている大学生の除雪の江別での実施
20 防犯	A -	(1) 防犯機能付き街路灯の整備		
		(2) 6丁目踏切あとのアンダーパスの防犯対策が必要		
		(3) 子どもが安全に遊べるような公園の防犯対策		
21 救急	A -	(1) 一次救命の充実		

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
まちづくり部会	22 まちづくり	A 市街地整備	(1) 道路、店舗、公園トイレのバリアフリー化	① 人を減らさないように住みやすいまちづくりが必要
			(2) 高齢者と子どもが一緒に活動できる施設の整備	
			(3) 各地区ではなく、江別全体が一カ所にまとまれる場所の整備	
			(4) 江別、野幌、大麻の地域ニーズにあわせたまちづくり	
			(5) 豊幌地区の位置づけ	
		B 大学連携	(1) 学生用のイベント、コンサート、展示などの多目的スペースの整備	
			(2) 中心街に学生の作品などを展示する美術館、アート通りを整備	
			(3) 大麻・文京台を早稲田大学前のように学生が定着する町に整備	
			(4) 学生が4年間地域とかかわりながら楽しく過ごせる街	
		C れんが活用	(1) 街並み整備、まちづくりへの活用	① 野幌駅を降りたらレンガの街並みがあるとよい
	(2) 市民1人1つれんがを焼き、街並みに活用		② 道路にレンガを敷くのは車椅子にとって危険であり、無駄なお金	
	23 中心市街地	A JR駅	(1) 江別駅の改築	① 駅に物産展や農作物を販売できる場所が必要
			(2) 江別駅に市のコミュニティ会場を設置	
			(3) 江別駅をデイサービス、病院、託児所などの複合施設として整備	
(4) 野幌駅構内への店舗誘致				
(5) 野幌駅高架下、駅前広場の活用				
(6) 仕事帰りに利用できる飲食店を野幌駅高架下に誘致				
B JR駅周辺		(1) 病院、保育所、大型書店、大型駐車場の整備・誘致	① 駅と直結する大型店舗の誘致	
		(2) ギャラリーや休息スペースなど人が集まる場所の整備	② 江別駅前の活性化が必要	
		(3) 駅周辺は公共施設整備よりも企業誘致が必要	③ 商店街の入った集合住宅を整備し、江別駅と地下道で直結	
		(4) 箱物ではない江別の顔が必要	④ 江別駅周辺の開発は一つひとつではなく一体的な整備が必要	
		(5) 江別駅周辺にれんがを使った商品などを扱うやきもの街を整備	⑤ 条丁目の市街地をどういうまちづくりにしようとしているのか不明	
		(6) 江別駅前に地産地消のレストラン街を整備	⑥ 江別駅前は市街地なのに商店が開いていない	

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
まちづくり部会	23 中心市街地 (続き)	B JR駅周辺 (続き)	(7) 農協が撤退する江別駅周辺にスーパーが必要	⑦ 江別駅前の農協が撤退すると買い物難民がでるため対策が必要
			(8) 江別駅周辺を住宅街として整備	
			(9) 野幌駅周辺に商業施設の誘致	
			(10) 分断されていた野幌の地区をつなげて賑わいを創出	
	24 道路	A 幹線道路	(1) 冬期間の交通確保のため札幌への幹線道路の整備	① 社会資本(東西インターチェンジ)が整備されているが活かされていない
			(2) 白樺通と国道275号との連結	
		B 生活道路	(1) 未整備となっている生活道路の整備	① 交通網が東西だけで南北が未整備
			(2) 大麻地区から国道12号への連絡の不便さの解消	
			(3) JRの地下歩道や3丁目の歩道橋のように使わないものは作らない	
			(4) 歩道を花で飾る	
		C サイクリングロード	(1) 自転車で市内散策できるサイクリングロードの整備	① 人を呼び込むためのサイクリングロードの整備
			(2) 歩行者も通行できる全天候型サイクリングロードの整備	
	25 公共交通	A 方向性	(1) 自家用車を使わなくてもいいまちづくり	① 公共交通機関の充実
		B JR	(1) 特急の江別駅停車	① JRによる交通の便がよいまち
		C バス	(1) 路線の多様化、低床バス導入の支援	① バス路線のあり方をきちんと考えることが必要
			(2) 市内循環バス、コミュニティバスの整備	
(3) 温泉施設や自動車学校等の送迎バスの活用				
(4) 100円でどこでも乗れる循環バス				
(5) 買い物難民のための無料バス				
D 地下鉄等		(1) 札幌市の地下鉄延伸	① 将来のために新札幌から大麻まで地下鉄を開通	
	(2) 札幌と簡易モノレールで接続	② レンタルサイクル、サイクルシェアリング、カーシェアリングの実施		

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
地域産業部会	26 企業誘致	A ー	(1) 積極的な企業誘致が必要	① 新しい工業団地の検討
			(2) 食品・農産物加工など江別の産業を活かす企業の誘致	② 積極的な企業誘致が必要
			(3) 広い土地を活かした集配センターの誘致	③ 地域バランスを考えた大型小売店の誘致
			(4) 工業団地の活性化	④ 生協の誘致を活かした企業誘致
	27 雇用	A 若者雇用	(1) 大学卒業後の雇用の場づくり(例: 介護施設)	① 若い人を呼び込むための産業・企業が必要
			(2) 企業と学生のマッチング	② 若い人が安心して働ける街づくり
				③ 子育て世代の人たちが短時間でも働ける場所が必要
				④ 道の駅を整備し、働く場をつくる
		B 高齢者雇用	(1) 元気な高齢者が働ける場づくり	
28 食ブランド	A ブランドづくり	(1) 市民が江別ブランドを理解して市外へ販売		
		(2) 6次産業化により、ブランドカ、高付加価値の商品開発		
		(3) 菊水ととんでんファームのコラボなど既存資源で高付加価値化		
		(4) れんが、小麦、野菜、チーズで江別ピザを販売		
		(5) 江別スイーツ、パン、江別ビールのPR		
	B 大学連携	(1) 大学と農業、商業、工業の連携の推進		
(2) 農業と産業、大学が一体となって、江別小麦などで町おこし				
29 農業	A 後継者	(1) 農業の後継者対策	① 市が主体となった営農指導体制	
		(2) 新規就農の支援、法人化		
		(3) 新規就農を支援する会の発足		

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
地域産業部会	29 農業 (続き)	B ブランド化	(1) 農産物のブランド化	① 巨大市場の札幌をターゲットにした農作物
			(2) どんぐりで飼育するイベリコ豚の導入(どんぐりは植樹)	② 江別が誇れる産業である農業を大切に
			(3) 酪農公社の牛乳、えぞ但馬牛の地元消費	
		C 地産地消	(1) 市内の食料自給率を上げる取り組み	① おいしく安い野菜を活かし、農産物直売所を増やす
			(2) 質のよい農産物のPR	② 農産物直売所のPR
			(3) 野菜直売所、体験型農場のPR	
			(4) 農家民宿、農家レストランによる地産地消	
			(5) 江別恵庭線に農産物直売所を整備	
		D 通年出荷	(1) 冬に出荷するための貯蔵庫を整備	① 輪作体制の構築が必要
			(2) 農産物の貯蔵などへの冷熱エネルギーの活用	
			(3) 泥炭を暖房に利用したハウスによる農業の通年化	
		E 貸し農園	(1) 作物の世話を請け負うネットを利用した首都圏向けの貸し農園	
	30 商店街	A -	(1) 商店街としての街並みの回復	① 学生向きの店(飲み屋)が少ない
			(2) シャッター通りを逆手に取った有効活用(おばけ屋敷など)	② まちコンをや場所がない
(3) 市民の買い物優待制度			③ 市役所職員が江別の街中で飲食しなくなった	
(4) 高齢化を見据えた徒歩でも買い物しやすい街				
31 観光	A 観光振興	(1) 有名人の観光大使任命による市のPR		
		(2) 中国などからのフィルムコミッションの誘致		
		(3) 廃校舎や民家の宿泊利用		
		(4) 既存の資源を組み合わせた観光パッケージ化		
		(5) 美味しい店の情報などの観光マップを作成し、駅などに配置		

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
地域産業部会	31 観光 (続き)	A 観光振興 (続き)	(6) 平日の人口確保のため魅力となる拠点を模索	
			(7) いい意味でエコひいきできるまちづくり会社の設立	
			(8) 魅力的な街とするため箱物よりもソフト面の充実が必要	
		B 観光資源	(1) 石狩川の活用(雄大な流れが眺められる喫茶、カヌー体験など)	① 野幌森林公園の豊富な自然の活用
	(2) 石狩川の川下り体験や水運の歴史学習		② 野幌森林公園の木の生えていない場所へ市民参加による植林	
	(3) 河川防災ステーションの活用(親水空間、直売所など)		③ 札幌近郊でありながら田園風景がある環境の活用	
	(4) 河川防災ステーションの道の駅としての再整備		④ 野幌森林公園における野鳥の会の人などによる案内ボランティア	
	(5) 野幌森林公園の活用		⑤ 3つの河川を財産として有効活用	
	(6) 野幌森林公園の江別側からのアプローチ(大沢口)の整備		⑥ 昔チョウザメがいたことを活用	
	(7) 野幌森林公園のフットパスの整備		⑦ 市外の人気が高い入浴施設の活用	
	(8) 道立運動公園の活用		⑧ シネコンの活用	
	(9) れんが、ヤツメウナギの活用			
	(10) れんがを利用したデザイン性のある身近なものを商品化			
	(11) セラミックアートセンターの活用(アクセスの改善含めて)			
	(12) セラミックアートセンターの民間への売却			
	(13) やきもの市や買い物めぐりなどのフットパスコース			
	(14) 埋蔵文化財センター、文京台小学校の天文台、四季の道の活用			
	(15) 北海道有形文化財に指定された土偶の活用			
	(16) 歴的施設の保全・活用			
	(17) 遊歩道などによる市内観光施設のルート化			
(18) 市内の観光資源を巡る観光バスツアーの実施				
(19) 農村地区の観光活用(フットパスなど)				
(20) ホテルがみられる場所への標識整備				

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
地域産業部会	31 観光 (続き)	B 観光資源 (続き)	(21) 野幌小学校の木造校舎や自然の活用	
			(22) えべつチュンの活用	
		C イベント	(1) EBE-1グランプリとやきもの市の同時開催	
			(2) EBE-1や江別ブランドを企業や他市にとられない工夫	
			(3) EBE-1を定例化して江別産をPR	
			(4) 月に2、3回市内のどこかでやきもの市をイベントとして開催	
			(5) やきもの市の開催期間の延長	
			(6) 江別スイーツとのコラボでやきもの市に若者を呼び込む	
			(7) れんがを活用したイベントの開催	
			(8) スノーフェスティバルの魅力向上	
			(9) 江別高校跡地のイベント会場としての有効活用	
			(10) 江別の農産物を使ったイベントの開催	
		(11) 目玉となる新しい取り組み		
	(12) えべつ出身の有名人を呼んだイベントの開催			
	D 観光施設整備	(1) 宿泊施設の整備	① 行政主導の道の駅の整備	
		(2) 市営ライダーハウスの整備	② ヨットハーバーの整備	
		(3) JR防風林に宿泊・自然体験施設を整備	③ 桜や紅葉する街路樹を植樹し、食事のできる場所に整備	
		(4) 道の駅を整備し、江別産の食事、食材、えべつグッズを販売	④ 鉄道林南側への連続性のある桜の植樹	
		(5) 湯川公園を道の駅として整備し、野菜や特産品などを販売	⑤ 野幌駅から原始林まで行く道の整備	
		(6) 他市の人を訪れるような大型公園の整備	⑥ 老若男女が集まることのできるイベントや交流の場、広場の設置	
		(7) 防災ステーション近くに水遊び、スケートのできる親水公園を整備		
		(8) 人を呼べる大きなイベントホールの整備		
		(9) 大型イベントを開催できるイベント会場の整備		

えべつ未来市民会議及び各界各層との意見交換における意見の概要

部会名	ジャンル		市民会議	各界各層意見
	区分	項目		
地域産業部会	31 観光 (続き)	D 観光施設整備(続き)	(10) 大型SC(アウトレットモール等)の誘致	
			(11) 石狩との間で船を運航し、船着場に屋台村を整備	
			(12) 札幌競馬場の誘致	
	E 大学連携	(1) 学生の視点による観光プロジェクトの立ち上げ		